

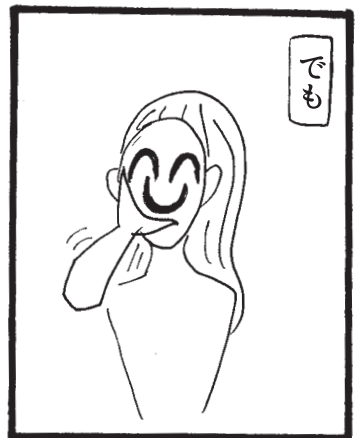
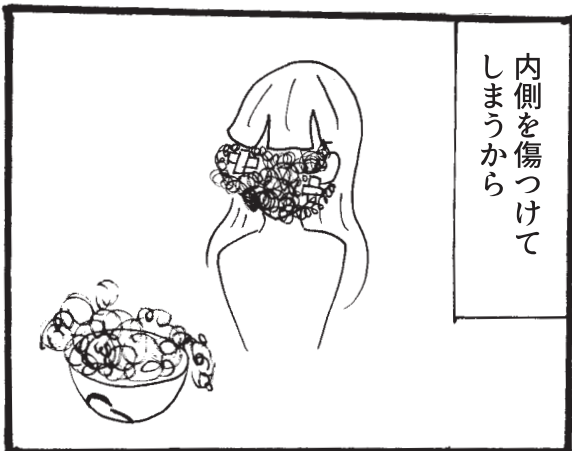
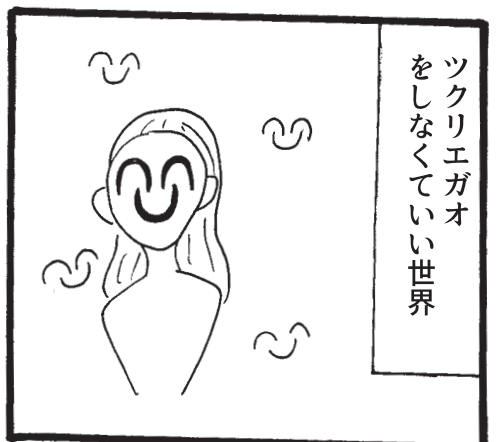
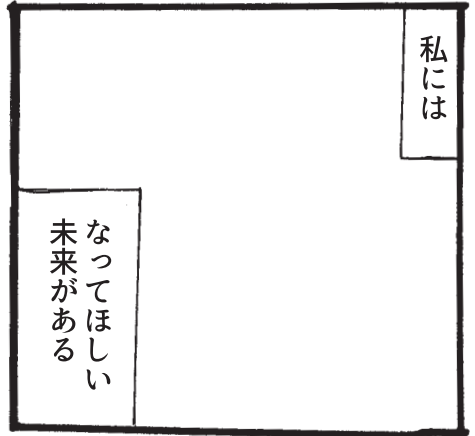
中学生

ストーリー

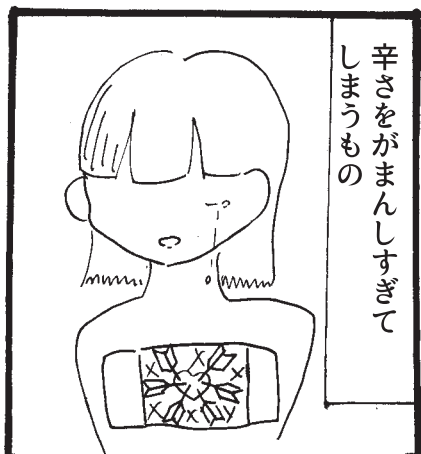
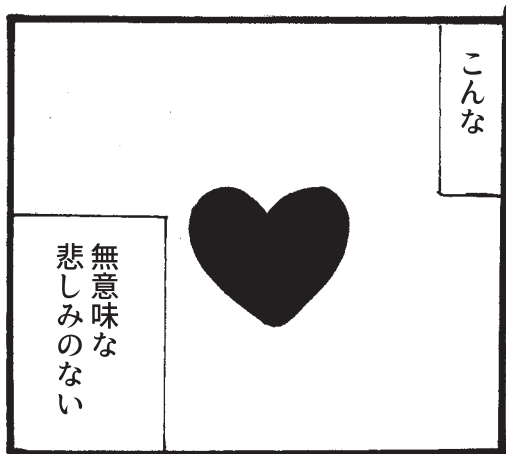
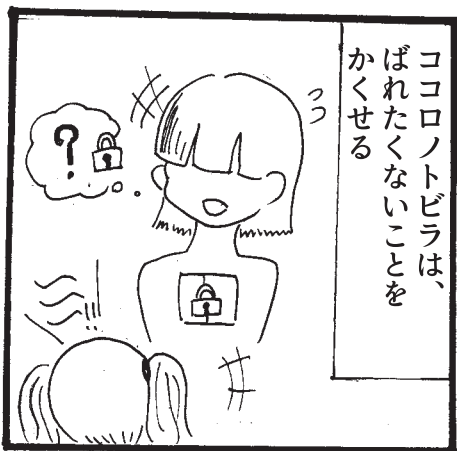
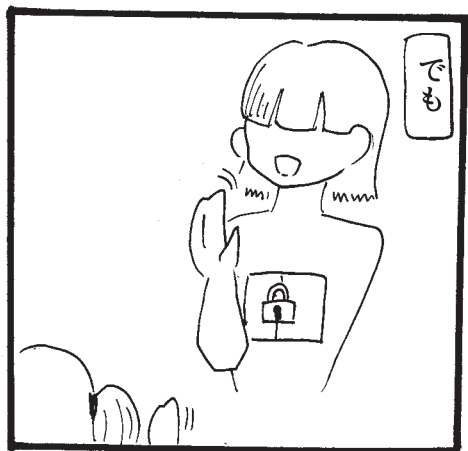
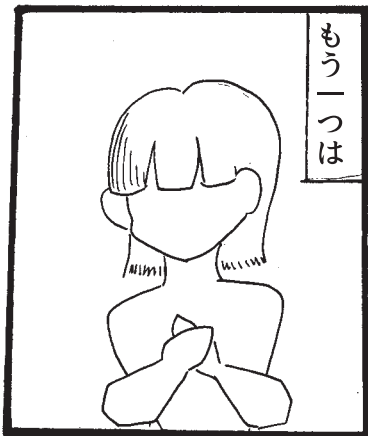
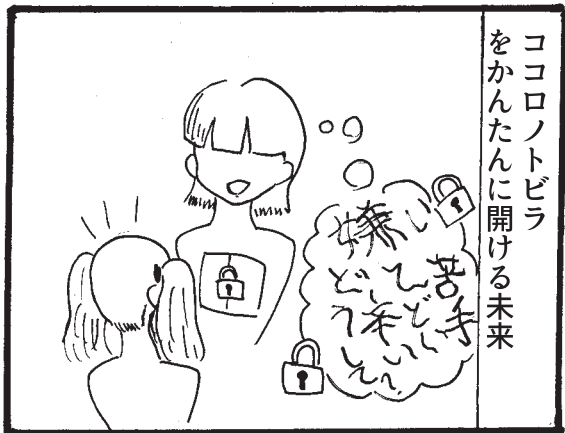




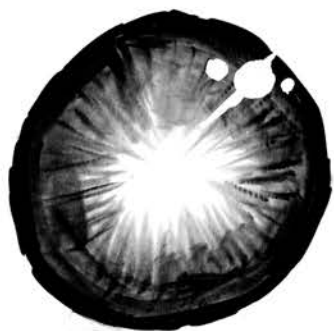
※このまんがには「ヤミ」があります。気をつけて!!



【ポイント】自分が思うミライをかきました。初めて暗めの作品にしたので、新鮮な感じでした。



未来で

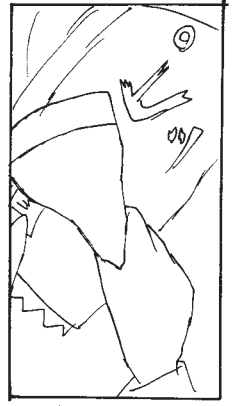
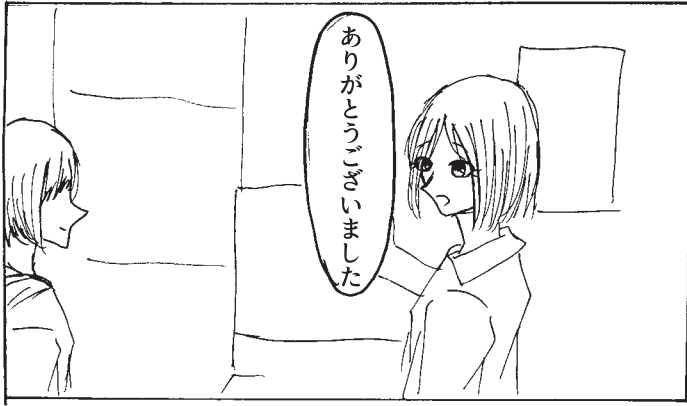


ありますように

ちよつと考へてみたありえない未来
あつと考へてみたありえない未来

たれ
こたへてい

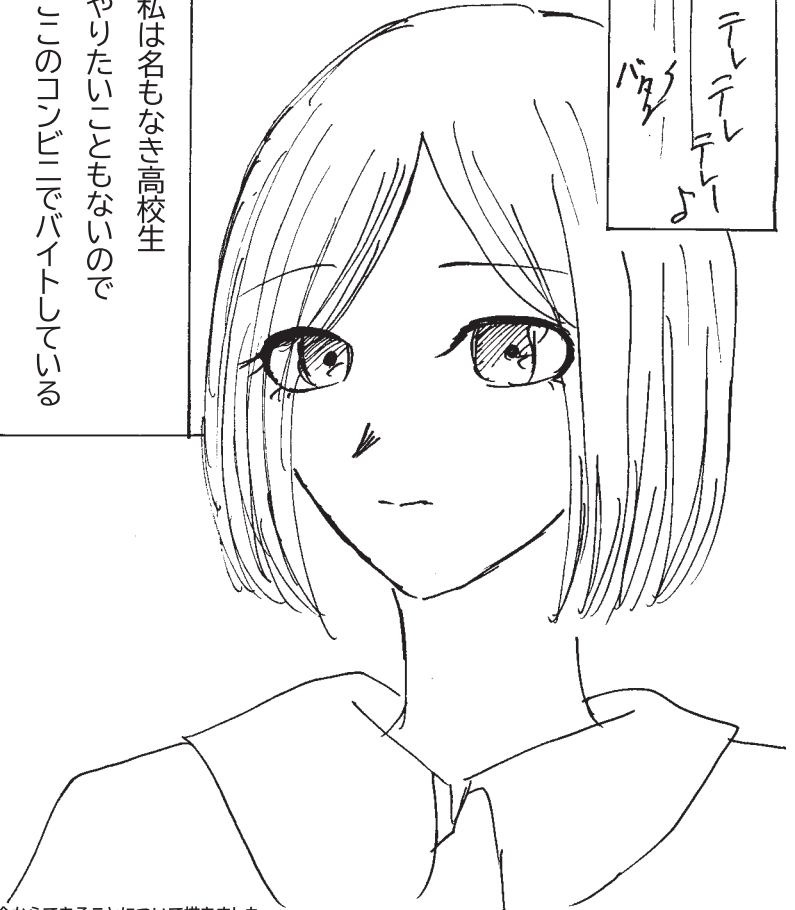


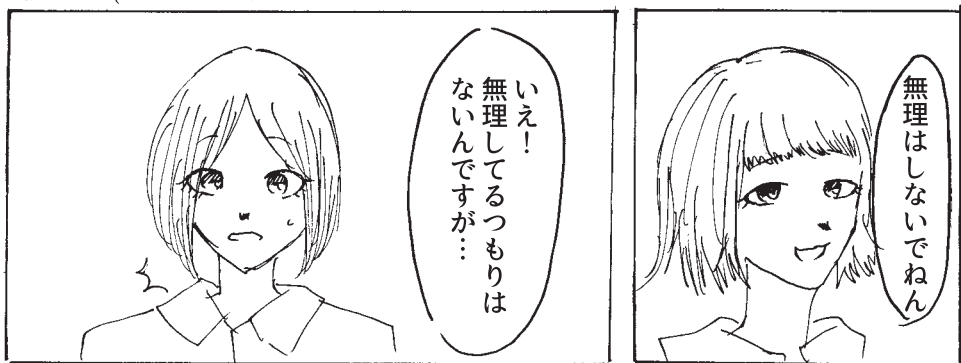
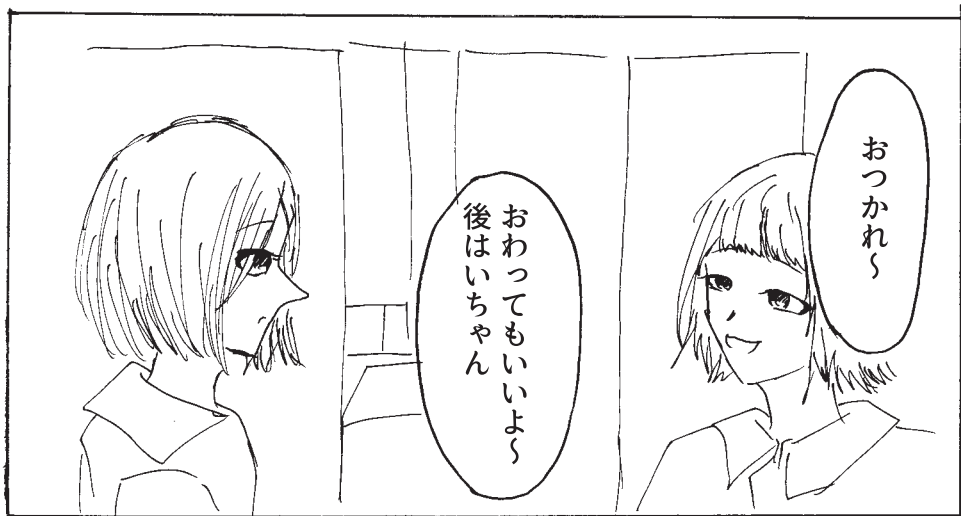


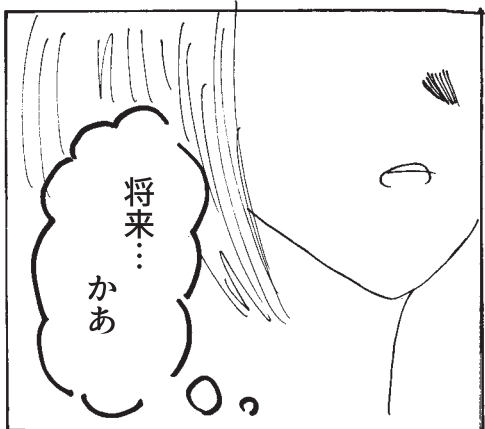
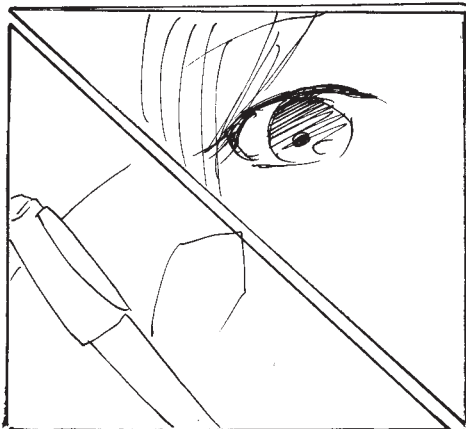
私は名もなき高校生
やりたいこともないので
このプログラムでバイトしよう

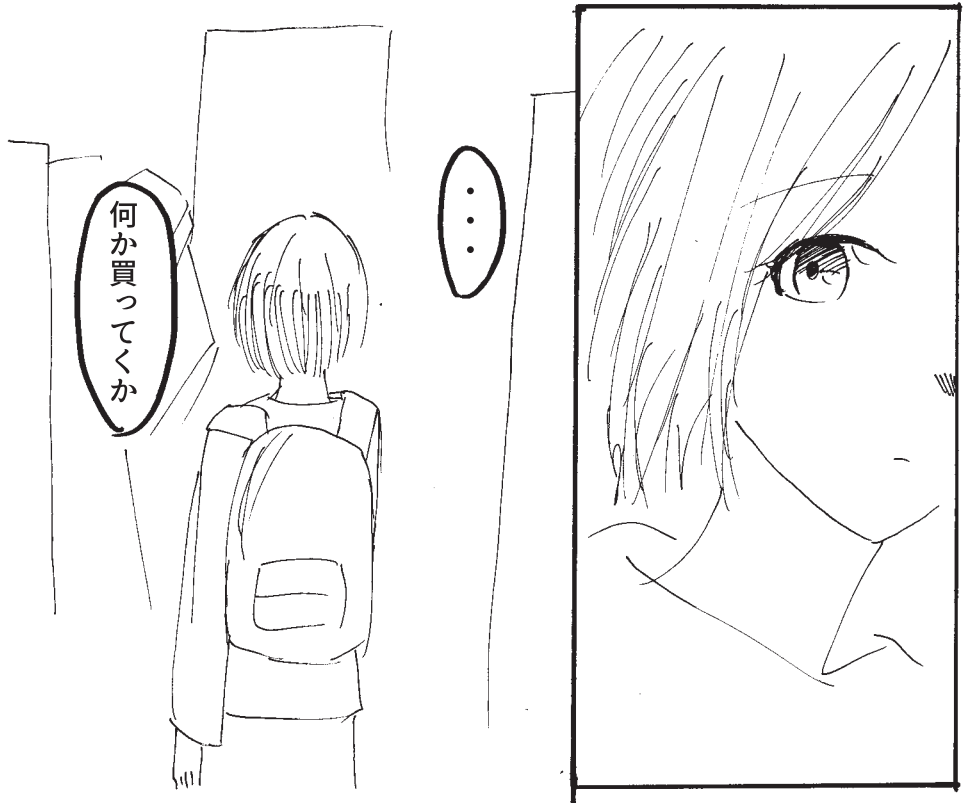
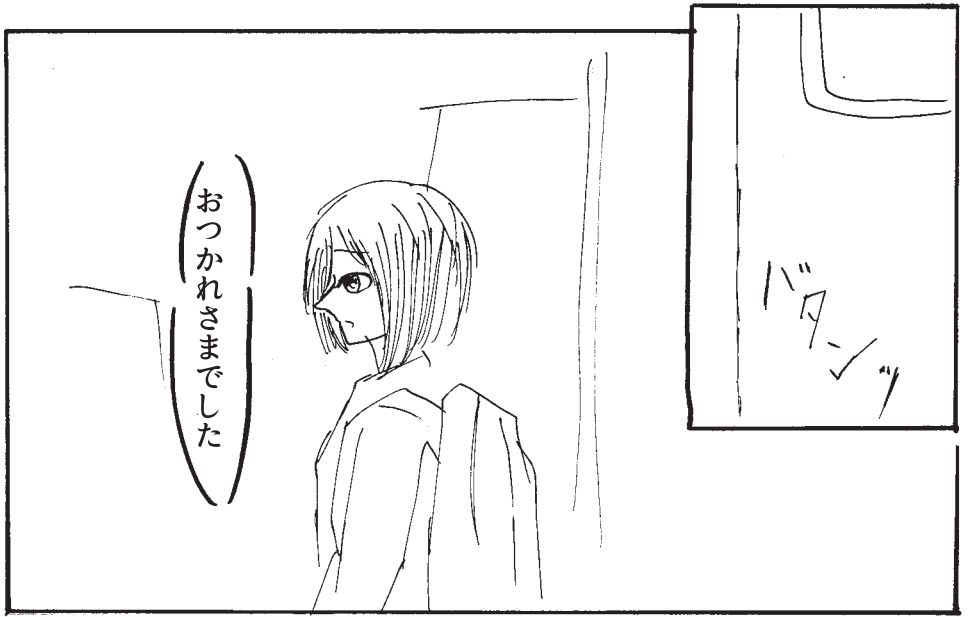
テレテレテレ
バズ
テレ
音楽

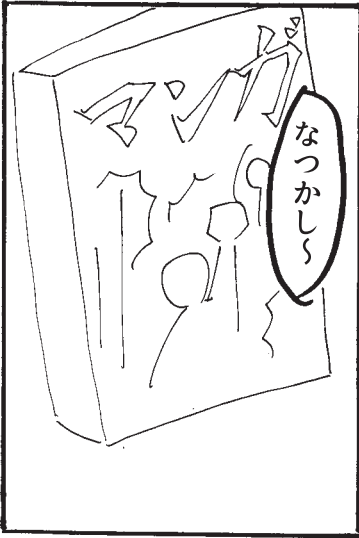
ひま人だ



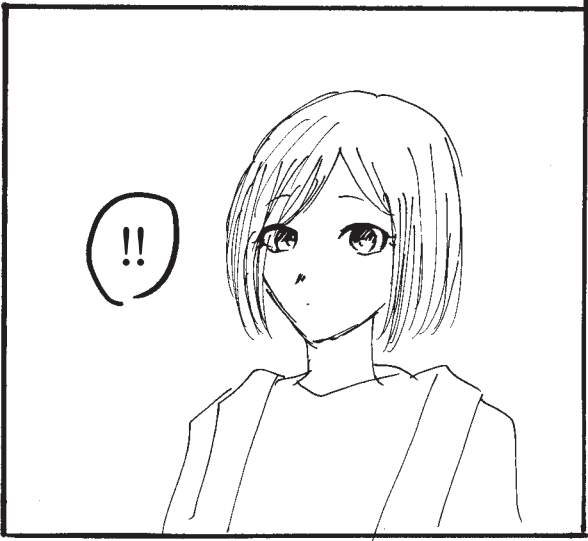




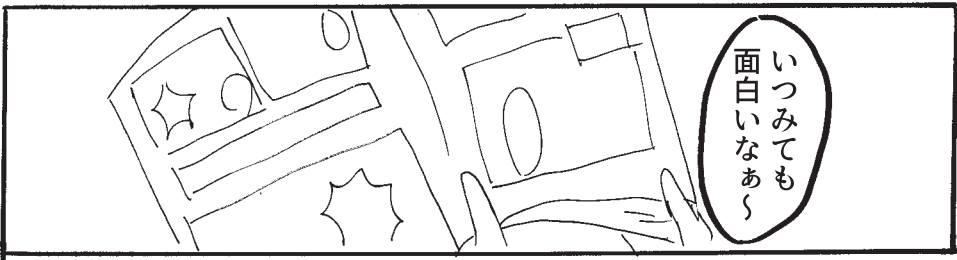




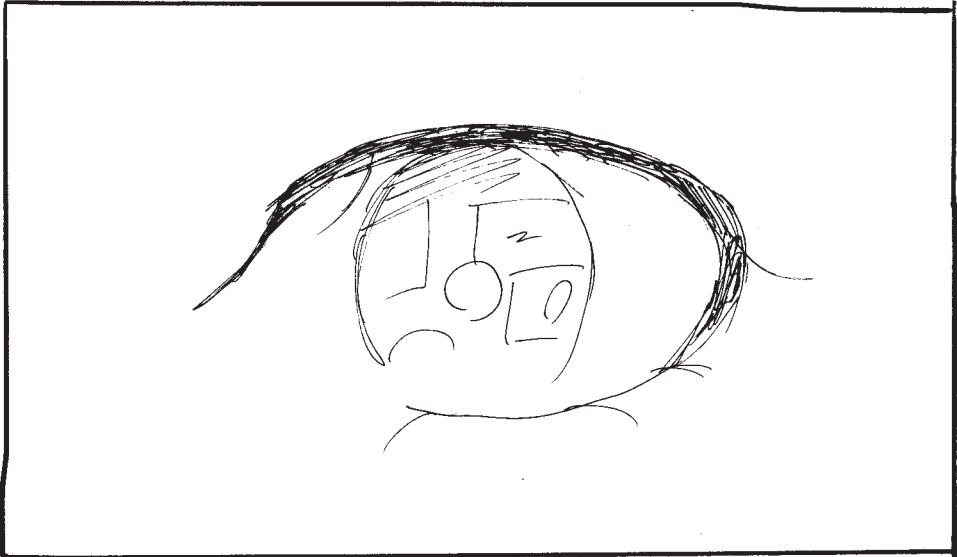
なつかし

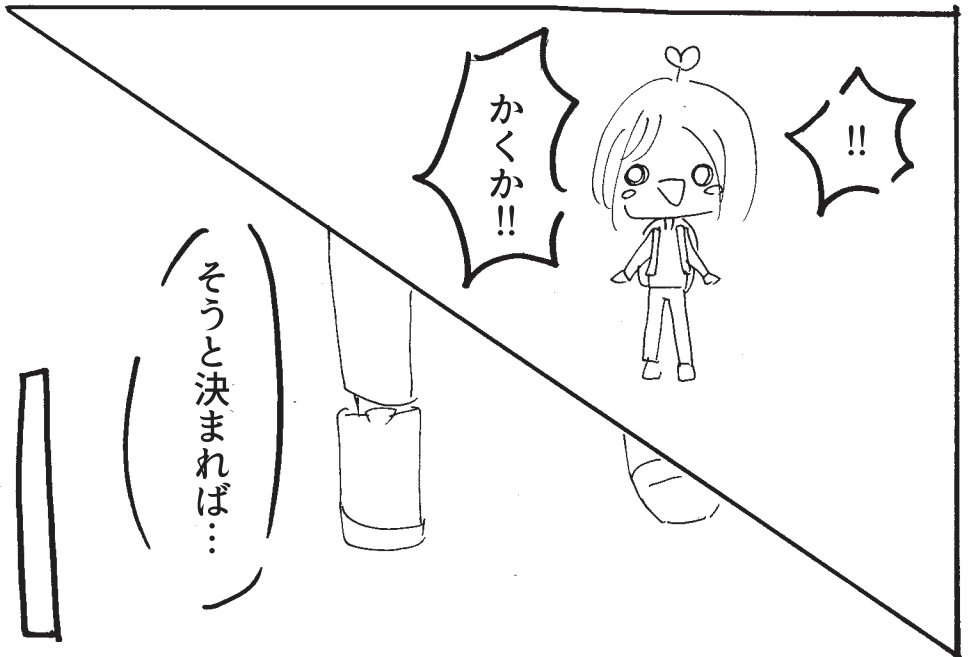
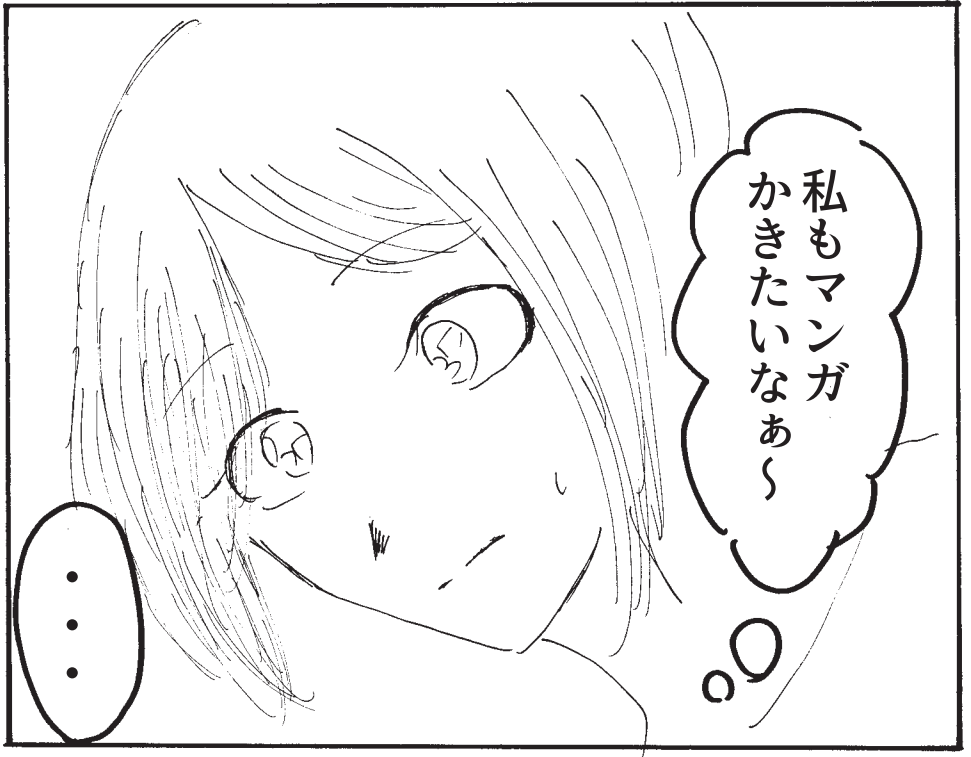


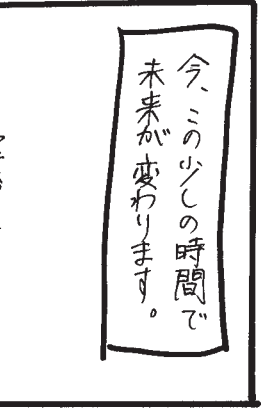
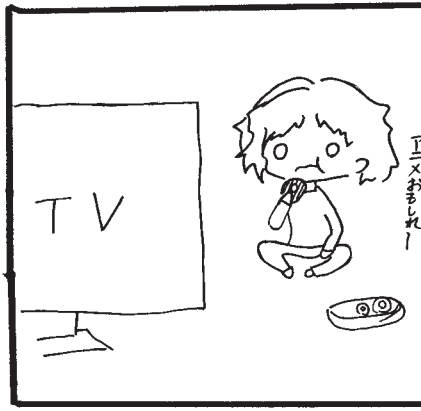
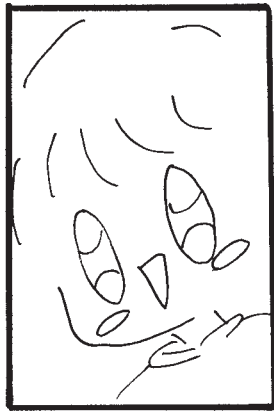
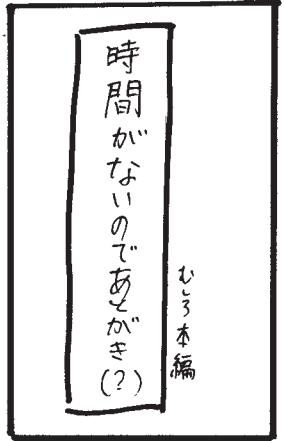
!!



いつみても
面白いなあ







[コメント] タイトルに「ありえない」と言ってるのは照れかな？ 全くありえない未来ではないと思います。漫画としても絵も思いも丁寧に描けてます。ぜひ「ありえる未来」にしてくださいね！



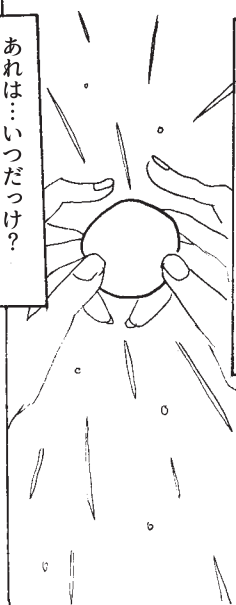
私はいつから
こうなったのだろう。
なぜ？なぜだろう。



私の名は？
生きている意味は？

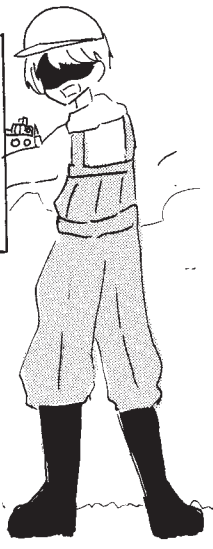
親愛なる彼の名は？
ああ、
何も思い出せない…

…けれど、一つだけ
私の生きたい理由がえがかれた
人生があった。



あれは…いつだっけ？
ああ、そうそう時は
ちようど
第二次世界大戦

数々の命が犠牲に
なった
戦いの時代だった。

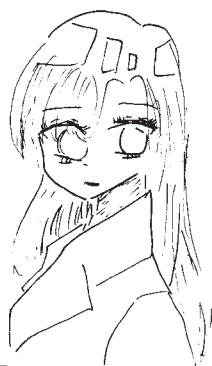


【ポイント】 未来でもあなたを忘れない→あなたと未来で幸せになることを望む、ということをもテーマとして表現しました。

私はその時、一人の
日本男性と付き合っ
ていたの。
彼は優しかったな…



イギリス人の私にも
差別をしないで
対等に愛してくれた。



私が見つければ
きっと彼もそっこう
死刑なはずだ。

そんな中でも
彼はずっと
「愛してくれた」

けど1943年4月27日
彼のもとに、赤紙が
届いたんだ。
そうまさに
悲劇だ。

彼は、最後まで
優しかった。彼は何一つ
文句を言わなかった。

“生きて。”

彼が最後にはなった
言葉はこれだった。



その瞬間、私はすべてをさとった。
彼はもう二度と私の前に姿を
現さないと。

その場で泣きくずれそう
になった。でも最後は、
笑顔でいたかった。



ああ、この時だ
この時から
私は…



おかしくなって
しまったんだ…

ずっと笑顔で
いたかったのに…



…なんで？
なんでなの？!!

私たちなんも
悪いこと
してない!!

ねえ、なんで？
だれか…教えて…

あの日から
笑えなくなっちゃった

気付けば私も…

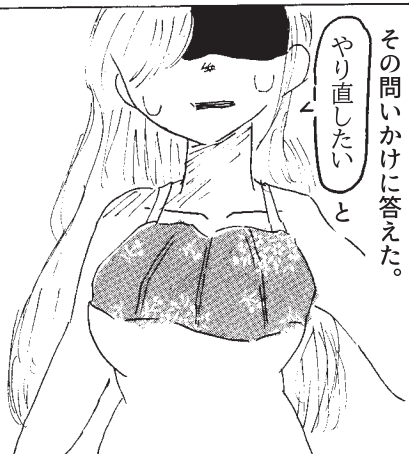


それがどこかは私には、もう、分からない。

でも、結局彼はどこかで死んでしまったらしい

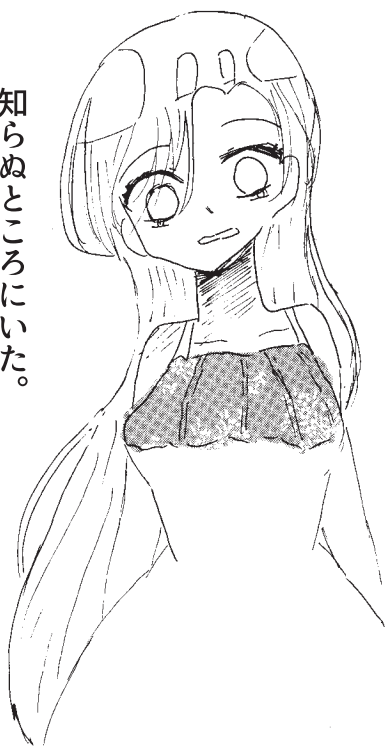


だれかに問われた気がした。——やり直したいか、と。



その問いかけに答えた。やり直したい——と。

知らぬところにいた。



私はある女性へと生まれ変わった。



でもまた死んでしまった。

けど私は必ず何回死んでも
生まれ変わる。



あの時のように



ならないように

何千年もかかっていい
私は未来で必ずあなたと
幸せになるから。



そうだ彼の名前：
ようやく思いました。
もう自分の名前も、
思いだせないけれど…。

あなたの名前だけは
見つけるまで絶対に忘れないからね？
それがたとえ、まだ見ぬ遠い未来でも…



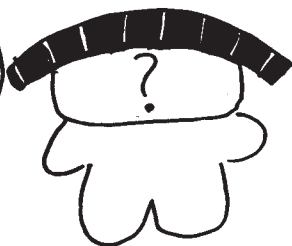
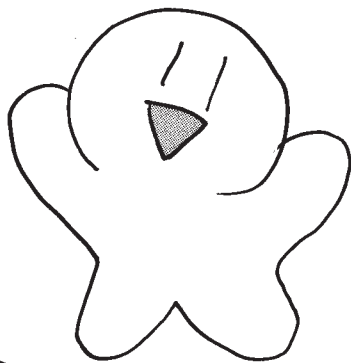
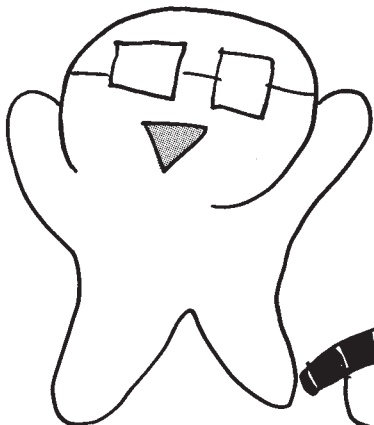
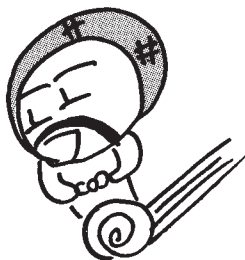
「加月 望さん」。

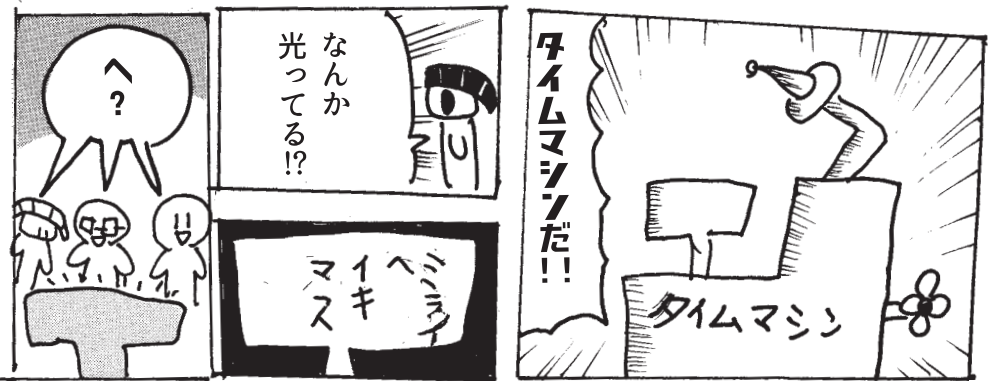
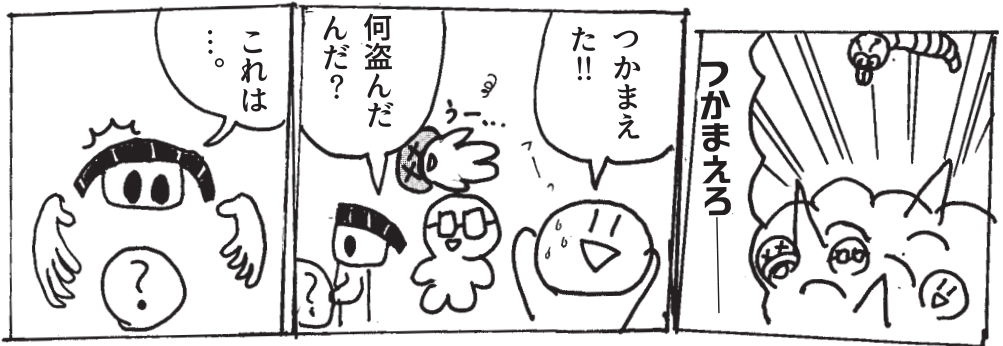
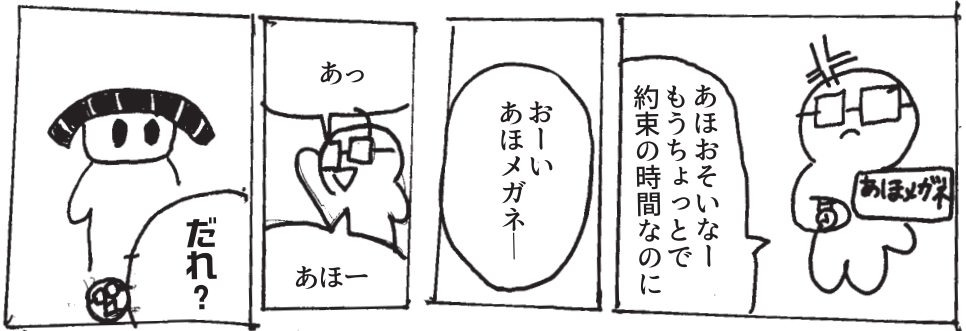
あなただけは絶対に忘れない。

【コメント】すごいですね。第二次大戦を題材に取り上げ、しかも永遠とも言える時間の中で愛を貫こうとした想い。中学1年生でこんな作品を描けるとは驚きしかありません。

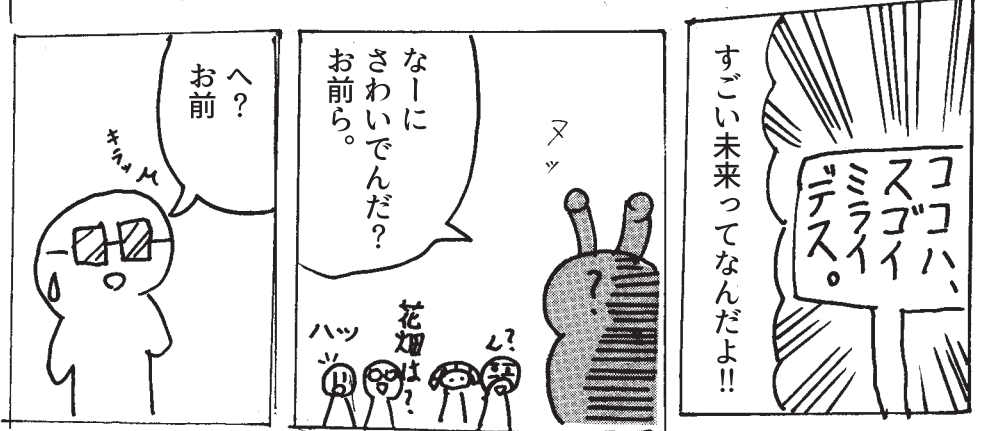
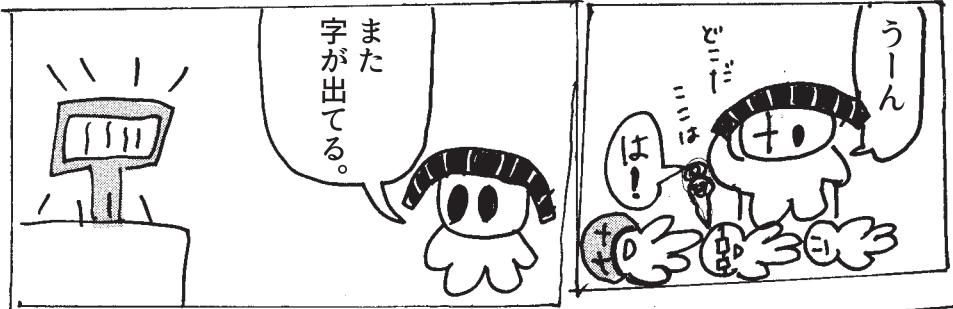
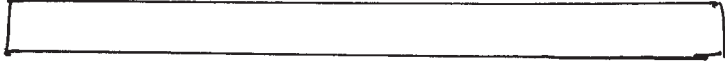
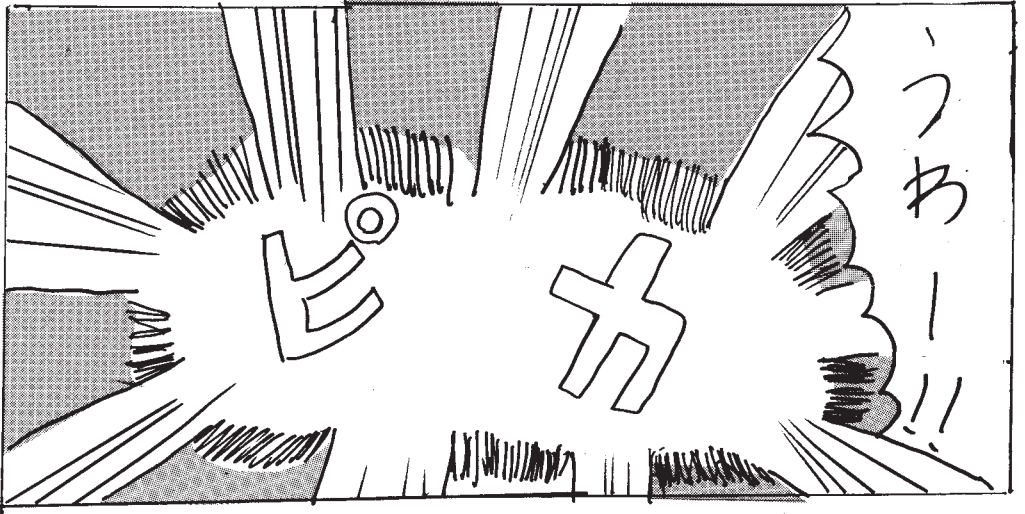
あほとあほメガネの!!

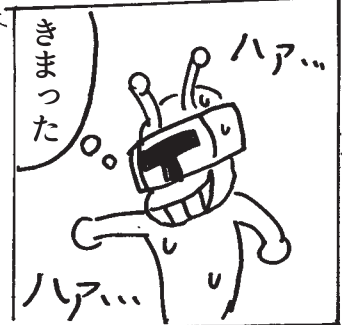
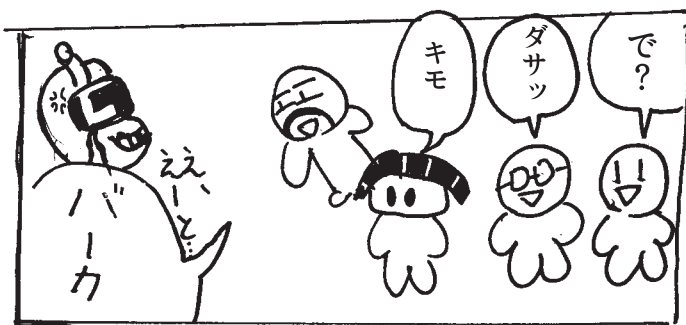
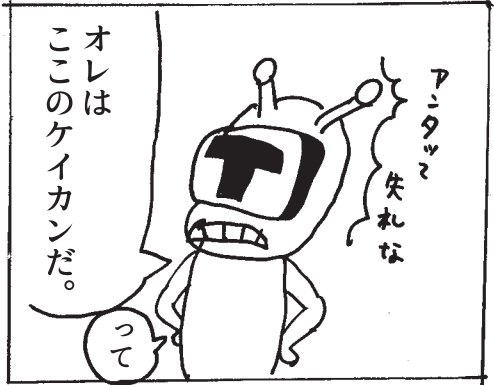
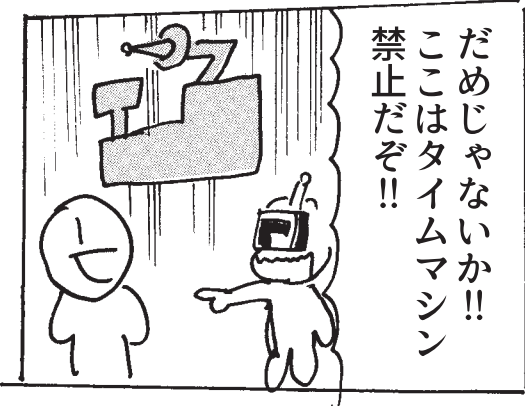
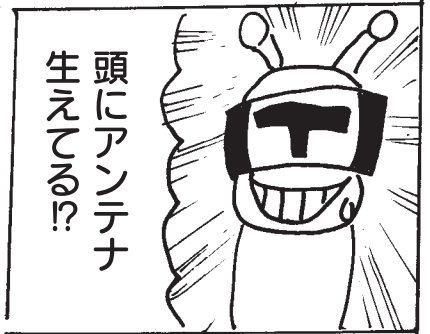
タイムマシン

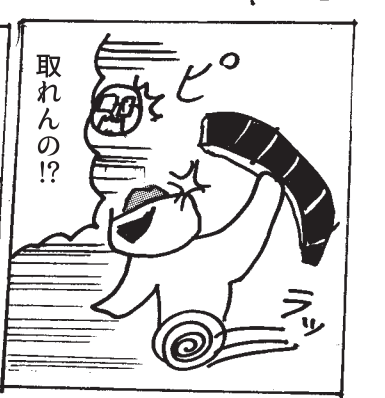
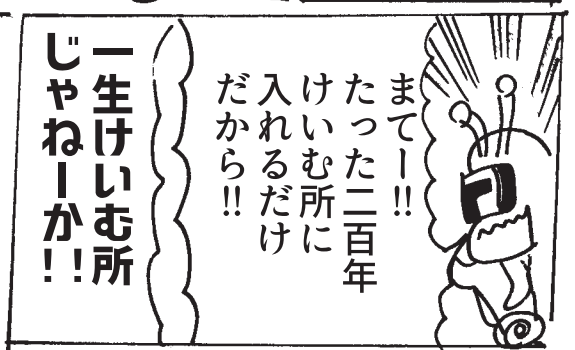
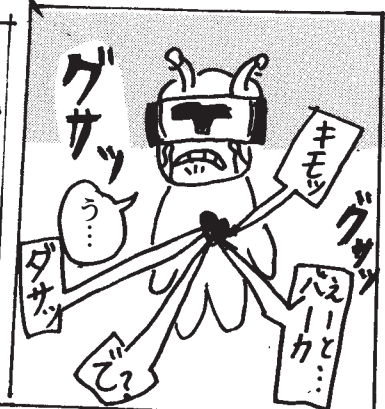
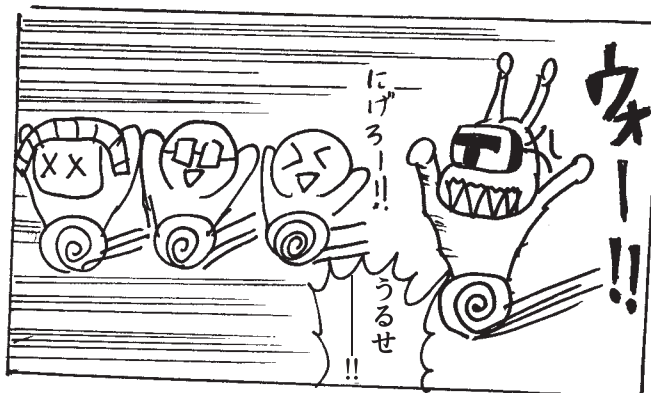


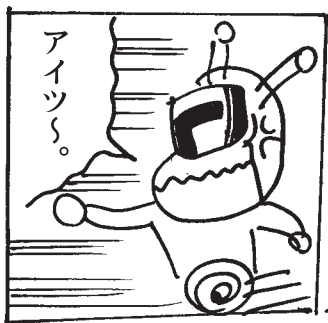
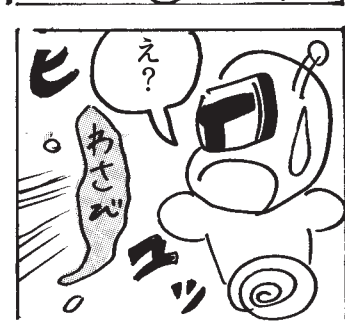
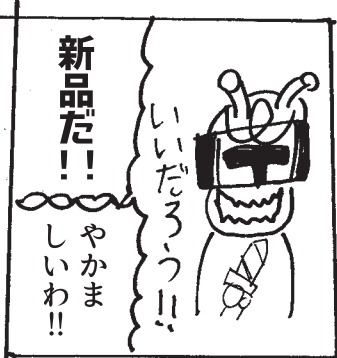
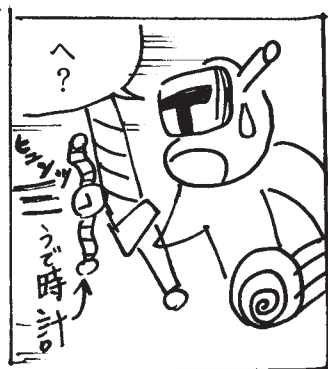
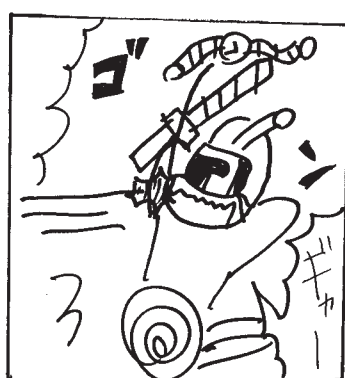
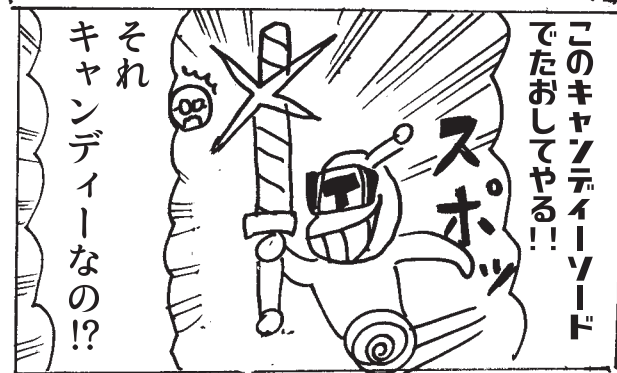
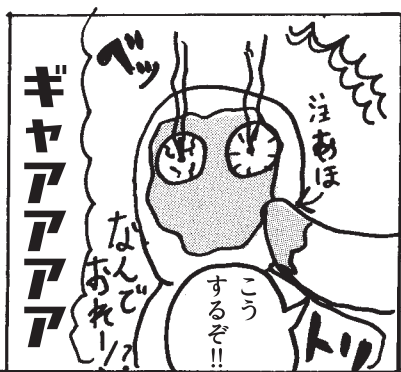
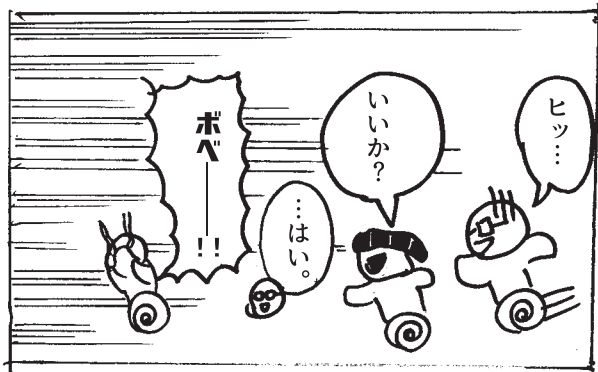


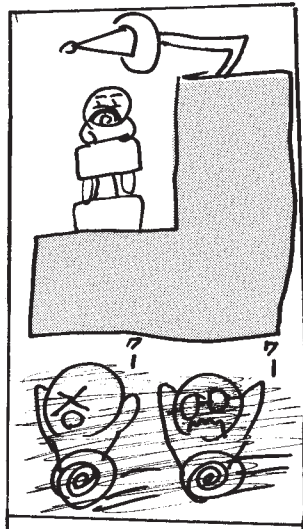
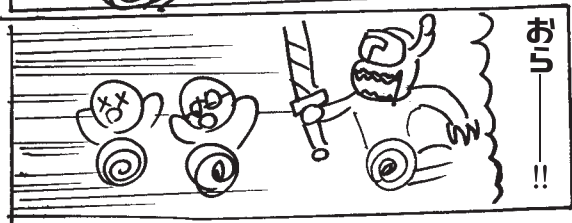
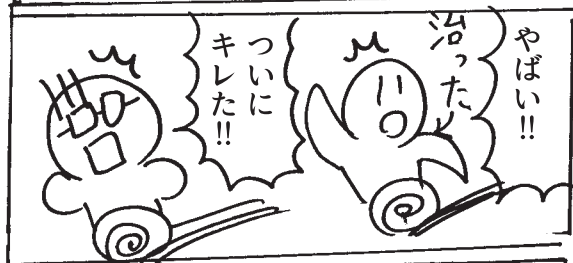
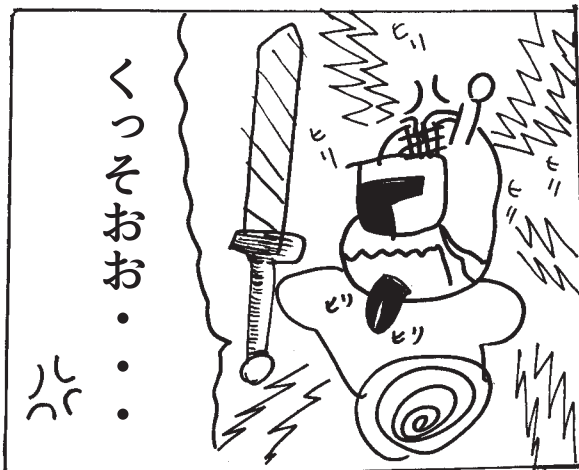
【ポイント】タイムマシンを使い、未来へ飛んだところ。

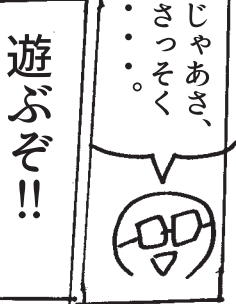
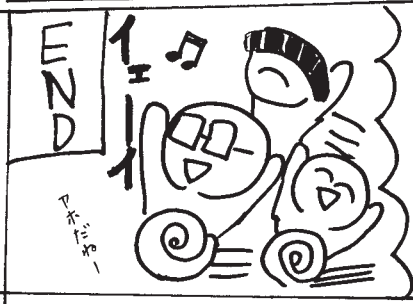
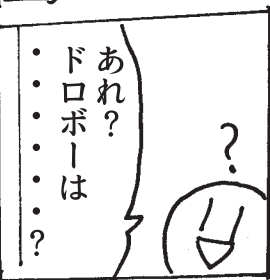
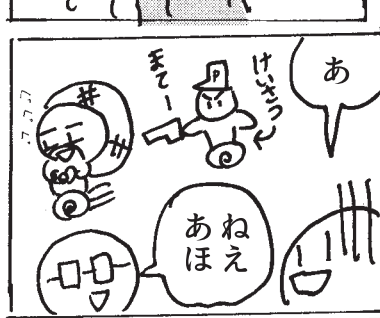
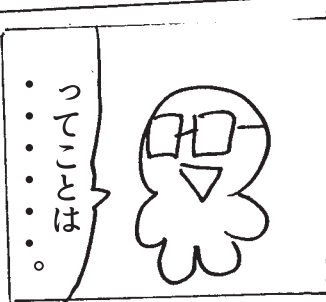
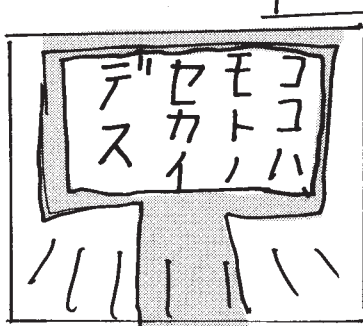
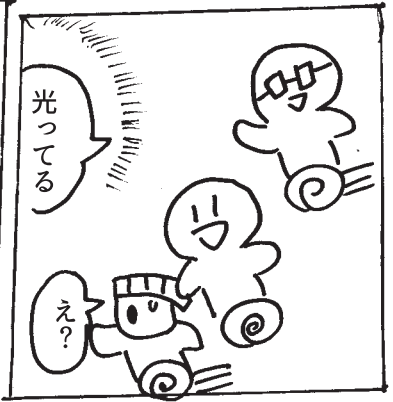
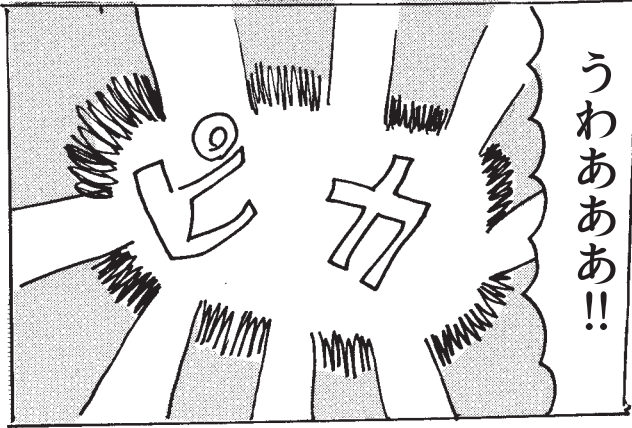




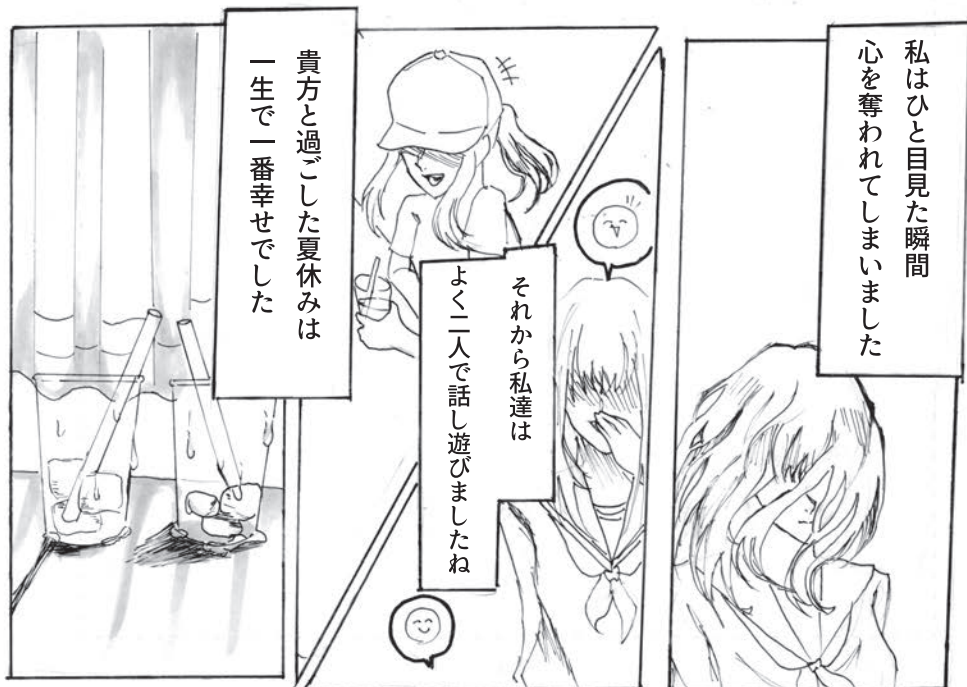








【コメント】アホらしくて面白かったです。作者本人が「これ読んだらアホらしくて笑うぞ!」と思いつきながら描いている姿が見えて楽しいです。



【ポイント】「これからの未来でも」というところです。

特に二人で夏祭りに行って見た
あの綺麗な花火と

貴方の可愛らしい
浴衣姿は忘れられません

我ながら
お恥ずかしい

貴方が私の友人と仕事をしていた、
それだけの事で嫉妬の感情を
抱いてしまったこともありました

夏祭りはここ

でもそんな出来事やそう思うことはないでしょう



校舎の屋上で



貴方は私の目の前で
飛び降りました



私は突然の出来事に
号哭してしまいました



貴方はなぜ私を呼び、
私の前で死んだのですか

何故何も言わずに
いってしまったのですか
今でも見当が付きません

貴方を止めることができなかったこと、
貴方の心に気づくことができなかったこと

今でも凄く後悔しています

貴方が死んだ九月一日と
貴方の物憂げな表情が
忘れられません

私はこれからの未来でもきつと

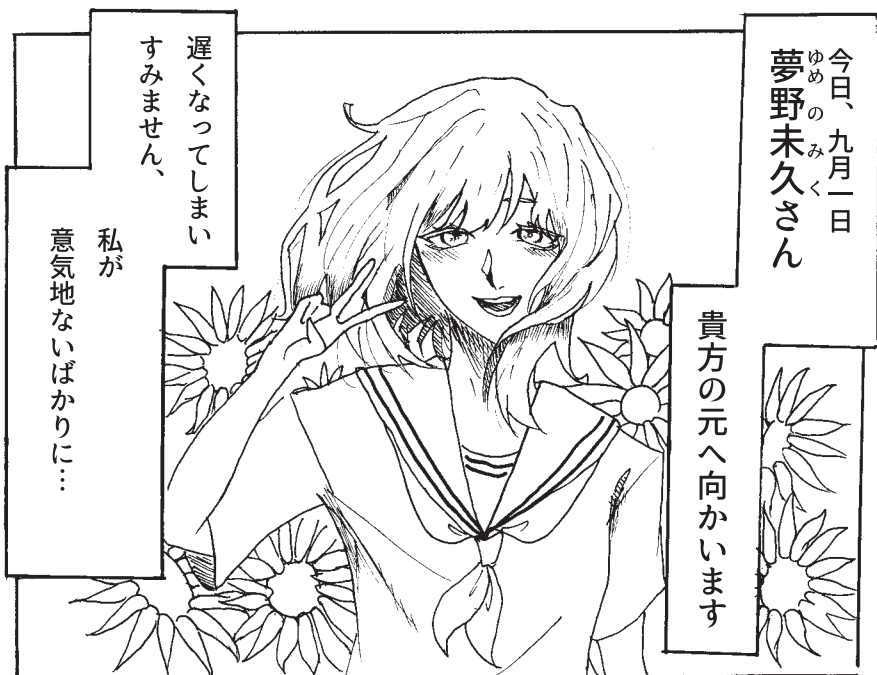
愛執から抜け出せずに
寂寞を感じるでしょう



夏めくと貴方を
時折思い出しています



ですが貴方への気持ちは
一切変わりません

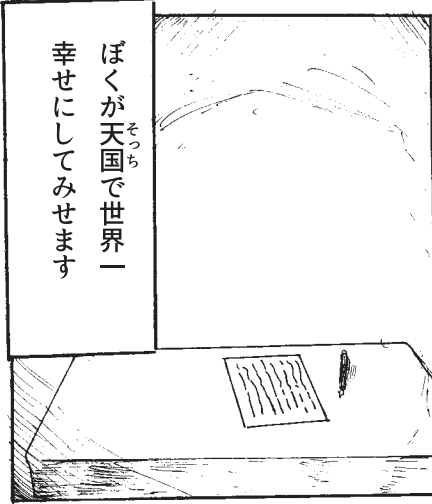


今日、九月一日
ゆめのみく
夢野未久さん

貴方の元へ向かいます

遅くなってしまい
すみません、

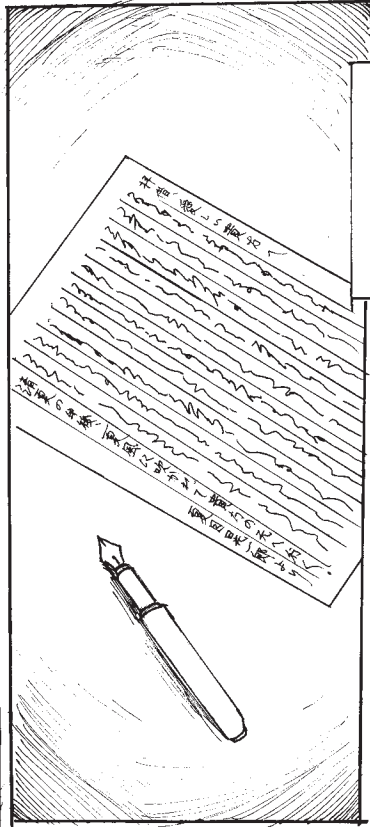
私が
意気地ないばかりに…



ぼくが^{そっち}天国で世界一
幸せにしてみせます

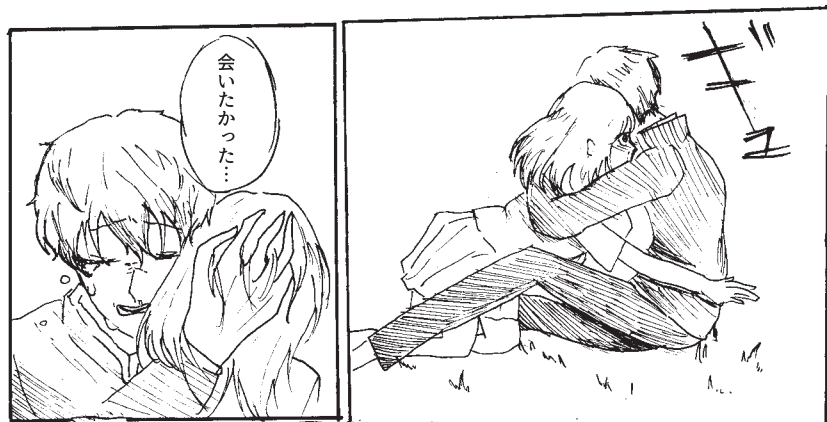
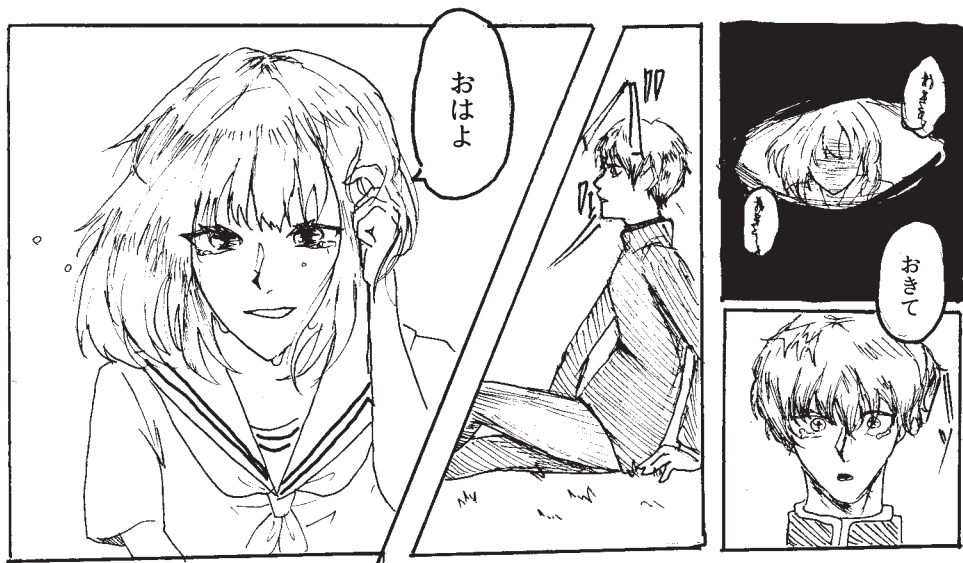


貴方が^{こっち}現世で
幸せになれなかったのなら



清夏の午後 夏風に吹かれて貴方の元へ行く。

夏目 晃一郎より





嫌だ、嫌だ!!
貴方の…



だからごめんね——



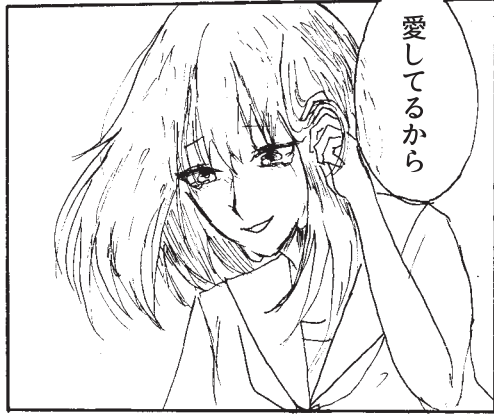
そんなの!!

私もだよ



嫌だ!!
嫌だ!!

未久さんのいない
こんな世界なんて!!

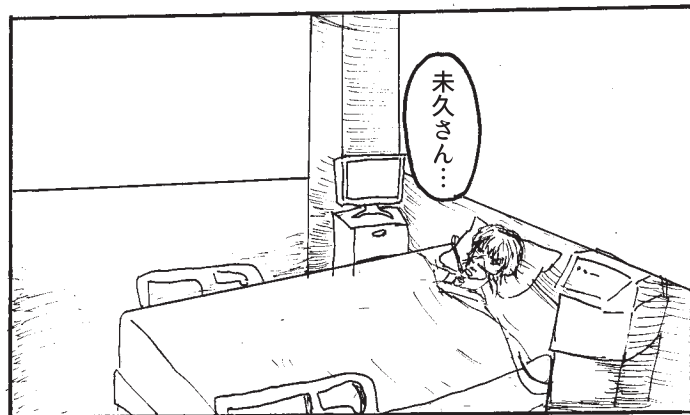
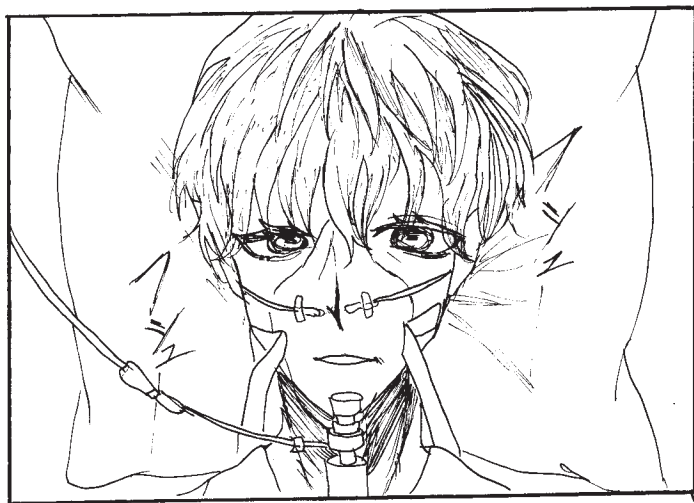
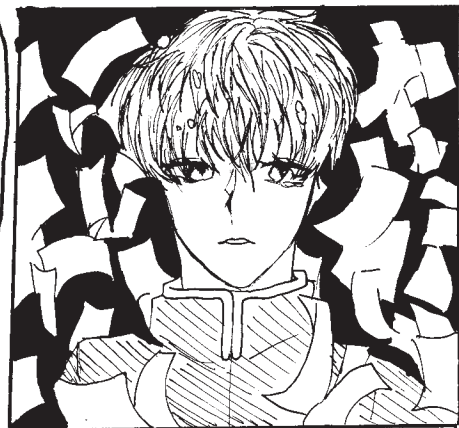


愛してるから



ずっと
見守ってるから…

ずっとずっと…



やっと身内に見せられる
マトモな漫画が描けた…

重力!!
感心

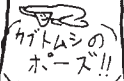


正直もつと画力アップ
させてから描きたかったな
このネタ…



おいらが誰か知ってるヤツ!!
こんな物語かけないと
思ってたやろ
H A H A H A ☆

おいら将来カブトムシに
なりたいたいっていったら



みんな「お、おう」とか
「草」しか
いってくれないんだ

この漫画7ページあたりから
アドリブいれちったから
多少変だけど許して



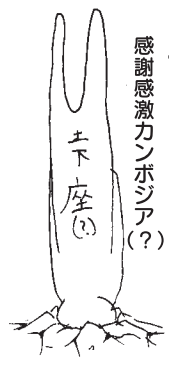
深夜テンションって
コワイ(笑)

本当は晃一郎くんを
しっかり〇して再会して
ハッピーエンドの予定
だった

ていつか

ここまで見て下さった
読者様!!

感謝感激カンボジア(?)



マジで

ありがとうございました

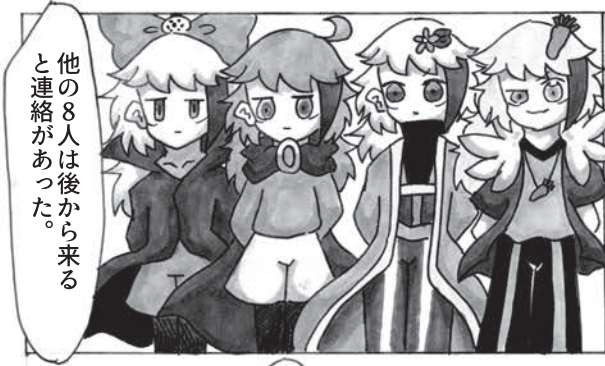
来年もたぶん同じ名前
でやるのでみてあげて下さい



【コメント】上手いです。絵に情感がこもり、文学的な言葉も効果的でした。十分に身内に見せられる漫画になったと思います。だからこそ、最後にはしばさん自身が出てこなくても良かった気がします。照れ臭かったんだと思いますが、ここはやり切りましょう。それもプロへの試練(！?)です。



【ポイント】 このマンガは主人公たちの住んでいる地の「ミライ」を守るために、シャドウ（闇）と戦うところがポイントです。



他の8人は後から来る
と連絡があった。



よし

集まったのは四人。



何だとオ!!

シャドウ

うるさいぞ
わさび



わさびさん

一旦落ち着き
ましょう。

うめ



今回は何だ!?

戦闘か!?

わさび



アタクホル食らいてのわ?

それも
そうだな。

もう手遅れな気が...



收拾がつかなくなる
前に用件を
教えてくれ。

珈琲



シャドウが
現れた。

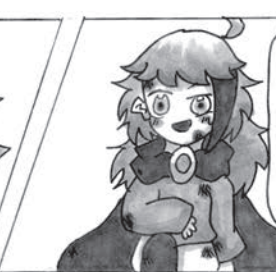


この軍の、

どういふことですか!?



シャドウさんは以前戦った後、



この軍に入ったんじゃないですか!!



そうなんだが



どうやら新たなシャドウが現れたらしい。

そのシャドウは



負の感情をふりまいていているらしい。

ソイツを止めないと、



この地が危ない…。

そんじや、



此処のミライのために

行くしかないよな!!



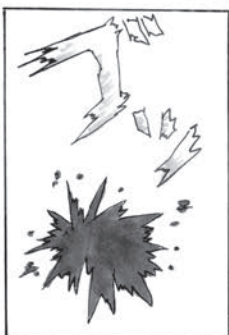
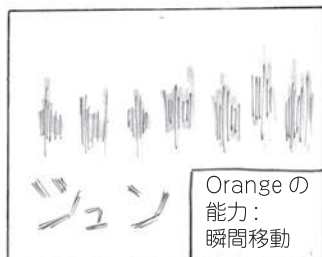
話は聞かせてもらったわ!!

Orange

Gray

遅くなってすまない!!









なんなら…



オレたち全員分
くらいのパワーを
もっている。

一人だが、



相手は一人か？

いや、



分からね…



一回戦って見ないと



拙者達で勝てるかも
分からないでござる…。

小豆



うちのリーダー
傷つけやがって!!



今までの敵とは
大違いだ。

みんな、気をつける。
こいつは…

クサッ



移動速度
低下の
薬だよ!!

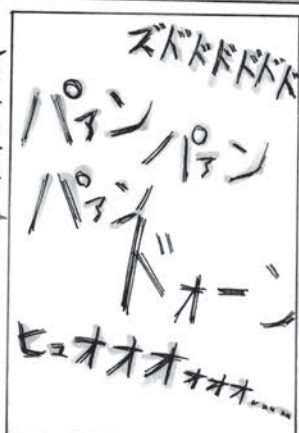
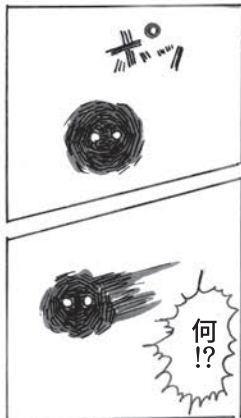
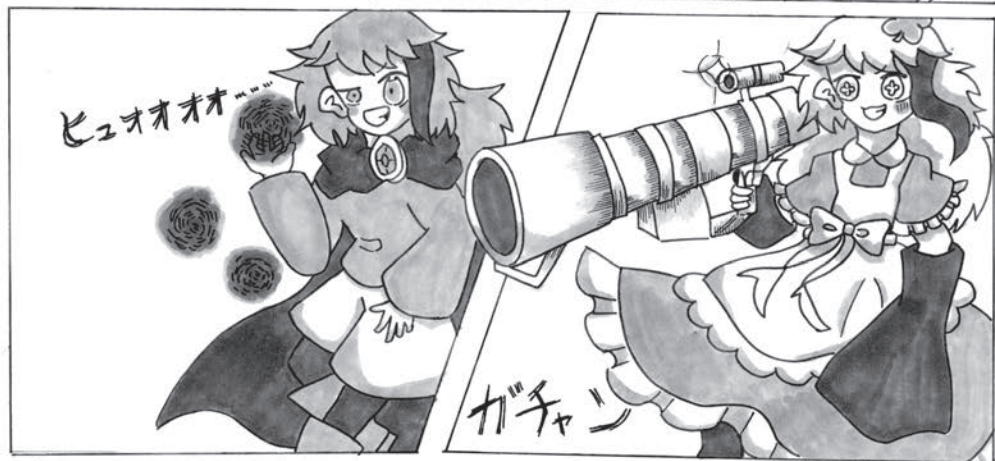
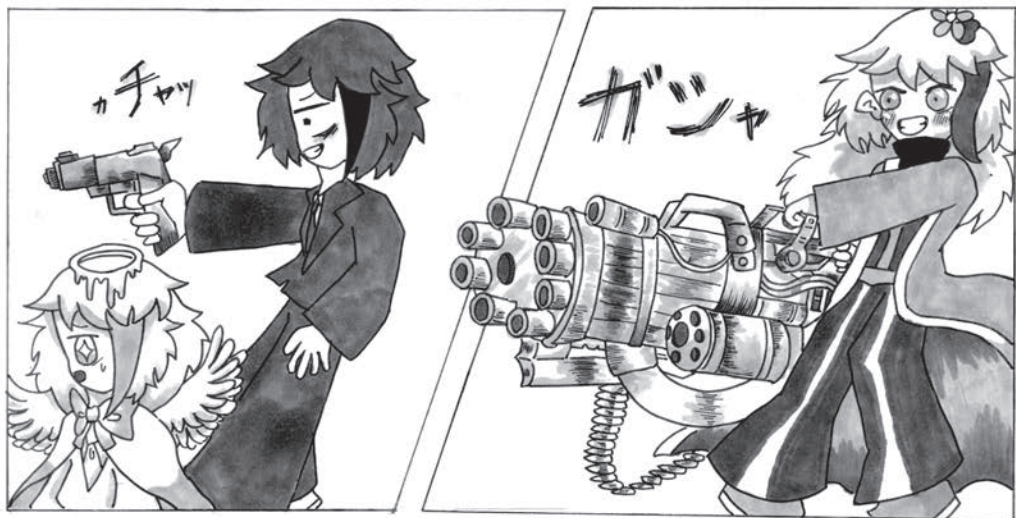


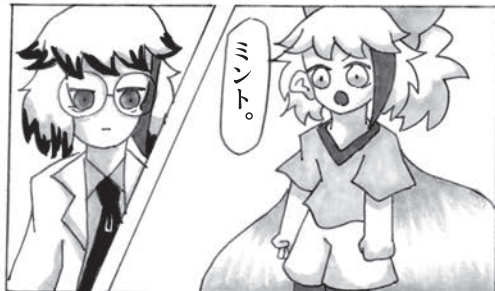
何々、コレハミ。

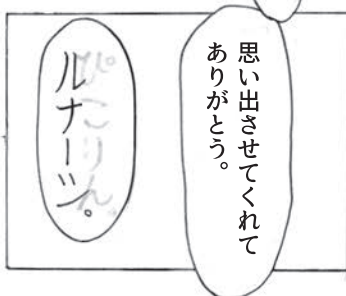


パツ









fin

【コメント】ネガティブな感情の化身である「シャドウ」という敵の設定は面白い。薄墨を使った画面はメリハリもあって読みやすい。ただ、キャラが多すぎるので、もう少し整理するとっと読みやすいかなと思いました。